

「幸せを創り出す力」を子どもたちに
～読書活動「ブックトーク」を通した
幸せづくりを目指して～

美咲町立加美小学校
校長 秋元 紀幸

美咲町立加美小学校



- 児童数
143人
- 学級数
通常6クラス
特支3クラス
- 学校司書
1人
(町職・週1日)

- 学校教育目標（中学校区共通）
「ふるさとを愛し 心豊かに
たくましく生きる中央っ子の育成」
～未来に向かって輝く子ども～

- 本校スローガン
「幸せを創り出す力を子どもたちに」

□実践紹介

【定期的に行っている取組】

- ブックトーク
- 給食・朝学習での読書
- 委員会活動（貸し出し等）
- 読み聞かせボランティア

【イベント的に行っている取組】

- BT1グランプリ「ブックトークグランプリ」
- 委員会活動（集会活動等）

- 本校スローガン
「幸せを創り出す力を子どもたちに」

□図書館教育の基本理念

- ・子どもの読書活動を支援し、**読書の喜びや楽しさ**を味わわせることによって、望ましい読書習慣を身につけるとともに、学習に対する**興味・関心**等呼び起こし、豊かな心情を育てる。
- ・学校図書館の活用を通して、必要な情報を**収集・選択・活用**することができる能力を身につけ、自ら課題を解決しようとする**主体的な力**を育てる。

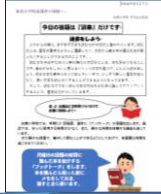
□実践紹介

○ブックトーク

- ・年6回、週末課題を「読書のみ」とし、読んだ本を紹介する**資料づくり**を行い、次週の月曜日の国語の時間に、読んだ本を紹介する「ブックトーク」を行う。
- ・「ブックトークループリック」をもとに、学年ごとに目指す姿を示し、意欲を喚起する。

□実践紹介

○ブックトーク【保護者通知】 【ルーブリック】



ブックトークの取組を
年度初めに保護者通知



ルーブリックを作成し
レベルアップ指標に

□実践紹介

○ブックトーク【実際の様子】

低学年



高学年



□実践紹介

○ブックトーク【低学年】



発表を聞いて
進んで質問

グループ代表が
発表することも



低学年は「発表メモ形式」を
基本形としてシートを作成

□実践紹介

○ブックトーク【高学年】



時には表紙や紹介したい
場面を見せながら

ルーブリックやスキルを
参考にトークを工夫



高学年は発表のポイント
参考に、シートを作成

□実践紹介

○BT1グランプリ

・年に1回、各学年の代表者が出場する「BT1 (ブックトーク) グランプリ」を開催。



ブックトークの集大成が「ロールモデル」に

□実践紹介

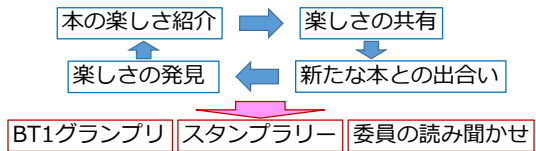
○委員会活動

・図書委員会が、常時活動（貸出活動）とは別に、自主的に集会活動（スタンプラリー・読み聞かせ等）を実施。読書の楽しさを紹介



□実践の成果

- ブックトークを通じた「幸せづくり」
 - ・「月末はブックトーク」が学校文化に。
 - ・読んだ本を友達に紹介し、読書の楽しさを広めることで、「読書による幸せづくり」が実現。



□むすびに

- ブックトーク
- BT1グランプリ
- 委員会活動
- 給食・朝学習での読書

紹介したい！

聞いてみたい！

読んでみたい！

今日は、あの本、読んでみようかな...